

第3回小野寺先生 「押しキャラ『ともだちはくま』」

前は、はりねずみの「ププちゃん」の話でしたが・・・。



今回は、「押しキャラ『ともだちはくま』」について、小野寺先生がいかに推しているのかという話を聞かせてもらいました。



『ともだちはくま』のキャラクターと、ププちゃんはとても仲良しそうですね。



第4回 蛭澤先生 「大好きな東田直樹さんの本について」

蛭澤先生の趣味は読書。作家の「東田直樹さん」について教えていただきました。蛭澤先生が東田さんの本が好きなのは、日本語のリズムが美しく心地よく感じるからだそうです。



東田直樹さんは、中学校のときに作家デビューしました。「世界を変える30歳未満の30人」に選ばれた1人です。「大谷選手と並ぶ1人」と聞くと、そのすごさがよく分かりますね。

「ありがとう」と言われたら、何だか自分が役に立った気がしてうれしくなります。感謝されると、あなたがいてくれてよかったと言われたような気分になり、温かい気持ちになります。ほめられることより、「ありがとう」の言葉の方が心地いい時もあります。「ありがとう」はすごい言葉です。

東田さんは、自身が自閉症であり、その理解を広めようと本を出版しています。



自閉症という障害は、どこから来たのだろうと考えることがあります。自閉症は、人類が生み出したものではないでしょうか。何かのバランスが崩れているために、僕たちのような人間が必要だから、生まれてきたような気がします。治らない障害というものは、時代が僕らに何かを望んでいることがあって、僕らをこの世に誕生させたに違いない。

蛭澤先生からは、『東田さんの本からは、「いろいろな人が存在すること、自分の心を豊かにできるのは自分」ということが学べます。ぜひ、いろいろな本に触れてみてください。その中に「東田直樹さん」の本があればうれしいです。』というメッセージがありました。ぜひ、みなさんも、いろいろな本に触れてみてくださいね。

第5回鈴木知先生 「鈴木知己の三問クイズ」

(鈴木先生の秘密①)

鈴木先生は、小学校 4 年生からバレーボールを始め、小学校では東海大会優勝、中学校では地区の選抜チームに選ばれて、東海3位でした。ポジションはベンチで、応援かつピンチサーバーだったそうです。

(鈴木先生の秘密②)

大好きなアーティストは・・・



最後に、図書主任として、おすすめの本の紹介がありました。

みなさんも、ぜひ読んでくださいね。

